

いのち
生命のにぎわい調査団
いのち
生命のにぎわい通信

第 32 号：発行 平成 26 年（2014 年）10 月

発行：千葉県環境生活部自然保護課
千葉県生物多様性センター

〒260-8682 千葉市中央区青葉町 955-2
（千葉県立中央博物館内）
TEL 043-265-3601 FAX 043-265-3615
URL <http://www.bdcchiba.jp/monitor/>
E-mail monitor@bdcchiba.jp

この秋はドングリに注目！

ドングリの名前を、思いっただけあげるとしたら、いくつ言えるでしょう？

スダジイ、マテバシイ、シラカシ、ウラジロガシ、アラカシ、アカガシ、… これらは葉が常緑の木のドングリです。

クヌギ、コナラ、ミズナラ、… これらは落葉する木のドングリです。殻斗（かくと：ドングリの帽子のこと）の形にもそれぞれ特徴があります。食べておいしいものも、渋いものなど、いろいろ拾って比べてみましょう！



スダジイ



シラカシ



クヌギ



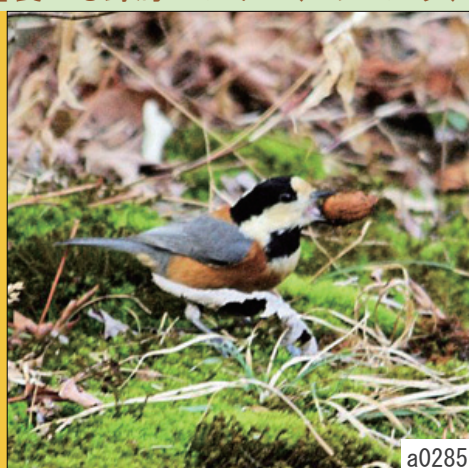
コナラ

撮影 大野啓一（中央博）

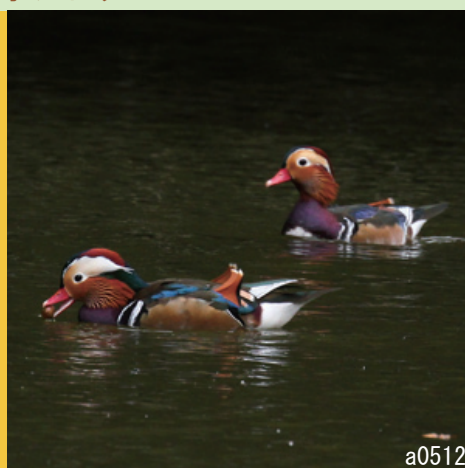
ドングリを食べる野鳥：カケス、ヤマガラ、オシドリ



a0285



a0285



a0512

最新の生物多様性に関する情報、各種講習会の情報は、当センターと調査団のホームページをご覧ください
「生物多様性センター」<http://www.bdcchiba.jp/> と 「調査団」<http://www.bdcchiba.jp/monitor/index.html>

11月24日（月・振替休日）午前10：00に、泉自然公園（千葉市若葉区）に集合！

紅葉が始まった里山できれいな実やどんぐり、水辺の生きもの、鳥、冬眠前の小動物など探しましょう。
参加ご希望の方は、同封の申込書にご記入の上、FAXか郵便で調査団事務局（生物多様性センター）までお送りください（11月13日（木）必着）。

生物多様性 秋のイベント情報

自然誌フェスタ千葉

11月3日（月祝） AM 9:00 ～ PM 4:30 参加無料（文化の日は博物館入館料も無料です）

会場：中央博物館 講堂・1階ホール

虫好き、花好き、化石好き、・・・みんな集合！

体験イベントや、千葉の自然や文化に関わる市民活動の紹介など、見て触れて楽しみましょう！

参加予定団体：安房生物愛好会 市宿おばあちゃんの畑 海パスタ 千葉菌類談話会

千葉県生物学会 千葉県地学教育研究会 千葉港ポートパークかもめのクリーン隊

ヒスイの会 房総貝類談話会 夢鯨工楽部 千葉県生物多様性センター 中央博物館

ミヤコタナゴシンポジウム

11月8日（土） AM 10:00 ～ PM 4:30 参加無料

会場：御宿町公民館 大ホール（御宿町）

生物多様性に支えられた「小さな生命の未来」について、いっしょに考えてみませんか？

話題提供者：望月賢二氏（元千葉県立中央博物館 副館長）

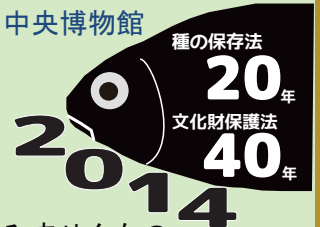
石鍋壽寛氏（観音崎自然博物館 館長）

御宿町ミヤコタナゴ保存会・栃木県環境森林部自然環境課（予定）

西尾正輝氏（富山県氷見市教育委員会 主任学芸員）

根岸淳二郎氏（北海道大学大学院環境科学院 准教授）

森誠一氏（岐阜経済大学 教授）



千葉県と連携大学との研究成果発表会

— 大学・市民・行政の生物多様性保全の取り組み —

11月9日（日） PM 1:00 ～ 4:30 参加無料 会場：東京大学柏キャンパス環境棟FSホール

柏市、市川市、江戸川大学、千葉大学、東京大学、東京海洋大学、東京情報大学、東邦大学、市民団体
および生物多様性センターの生物多様性保全への取り組みをご紹介します、今後の方向性を議論します。

秋の展示 どんぐりの世界

11月1日（土）～12月14日（日） 会場：中央博物館 企画展示室

日本や世界の様々などんぐり、動物との関係や、ヒトによる利用など、身近でありながら実はあまり知られていないどんぐりの世界を紹介します。

＜これからの季節に観察できる生きもの＞

○調査対象種：リンドウ、モズ（高鳴き）、イチョウ（黄葉）、カエデ（紅葉）、ビワ（開花）、カワセミ、ミノムシ など

○調査対象種以外（種の同定が難しいため、できるだけ写真の添付をお願いします）

* タカ・ハヤブサ類、カモ類 * 各種昆虫、両生類、爬虫類 など

* 希少生物（生息・生育数が減少している生物）や外来生物（特定外来生物・要注意外来生物）の報告も受け付けています。